

Flight A 0123 Seat 17C Gate 12 Terminal 1B

経済学部 経済学科
グローバル社会経済コース 4年
なるおか ひろと
成岡 大翔
高知県立高知西高等学校 出身

留学先
台湾
真理大学



成岡流こんな人は留学へ行く！
「食事には好き嫌いが無い人」。留学のハードルは高くない！興味を持って見てみると新しい発見がたくさんあるはず。留学はサイコーに楽しいよ！



私が留学したのは台湾ですが、最初は本当に大変でした。なかでも難しかったのは学部専門の授業です。私は数式や専門用語は意味を理解してから進みたいタイプなので、言語が分からないと進みません。そんな時、日本人やAIに頼る

「せっかく台湾に来たんだから」
現地の友達に輪に飛び込んだ

4年で卒業できることが、留学への後押しになった。留学しても単位互換ができるので4年で卒業できることは、私にとって大きな魅力でした。実は、両親にはできるだけ金銭的な負担をかけたくないと思っていました。だから1・2年生の頃は寮生活をし、留学するのに給付型の奨学金も活用しました。2年生までの成績が一定以上だと対象になります。そうした準備があったからこそ、両親を説得できた部分もありましたね。

4年で卒業できることが、留学への後押しになった

ネクストプログラム

グローバル人材 育成プログラム

グローバル化の進む地域社会 の課題解決に貢献できる人材の

育成を目指す プログラムです。

専用授業のプログラム関連授 業科目を履修し、2年次に海外の

大学に1年間留学、指定の 関連授業科目を修得します。

Going global!



世界に出たら、
ジブンが広がった。

Going Global

Flight A 0123 Seat 17C Gate 12 Terminal 1B

留学先
アメリカ合衆国
カリフォルニア州立大学
フラトン校

経済学部 経済学科
グローバル社会経済コース 4年
かたおか みどり
片岡 緑
高知県立高知西高等学校 出身



留学を経て「時間の使い方」にはこだわるように。その結果行動力も身についた。国際協力に興味があるので将来は英語を使って途上国のためになるような仕事をしたい。



留学への不安を
軽減してくれた環境

もともと海外に興味があり、香川大学のネクストプログラムを活用して留学したいと考えていたので、1年生の時に留学前の必修科目[Intensive English 1・2]を履修。留学経験のある先輩たちから詳しく話を聞く機会も多く、不安はなくなり解消されました。

TOEIC®だけでは
通用しなかったリアルな英語

留学して最初に苦労したのは聞き取りでした。TOEIC®では600、700点ほど取れていましたが、現地で通用するかは別問題。クラスメイトが話すカジュアルな会話(スラング)はその最たる例です。「それってどういう意味?」と聞いたり、メモして調べる毎日でした。

でも、その生きた英語に触れたことは、日本では得られない貴重な経験だったと思います。

予習型授業で変わった
学びへの向き合い方

アメリカの授業は基本的に予習型です。事前に自分で内容を理解した上で授業に参加し、そこでアウトプットしていくスタイル。予習しているから授業で初めて聞く言葉がなく、学びの吸収も早かったと思います。

なんと言っても留学での大きな収穫は多様な価値観に触れたことです。社会学ではジェンダーや移民について議論することがあったのですが、学校ではさまざまなバックグラウンドを持つ当事者たちが経験を語ります。教科書だけでは分からないリアルな言葉に触れ、多角的に物事を見る視点が身につきました。

挑戦したら、
苦手が得意分野になっていた

元来内向的な性格なのですが、限られた留学期間を無駄にしたいくないという思いから、何事にも積極的に挑戦しました。サークル運営に関わったこともそのひとつ。広報を担当することになり、苦手なデザインを担当することになって少々怯みましたが、その経験が今では自分の得意分野になっています。留学を通して、間違いなく行動力や視野が大きく広がりました。

モノを介して、
人との距離を縮めていった

でも、この友達を作るといのが難しい場合もありますよね。私はコミュニケーションはモノを介して距離を縮めるタイプ。例えば、普段は吸わないタバコを一本もらって一緒に話したり、バー好きの友達とお酒を飲みに行ったり、日本のお土産をあげたり。そういう何気ない時間の中で、自然と関係を深めることができました。これも友達を作るコツかもしれません。

金賞受賞が、自信につながった

初めはコミュニケーションが難しかったですが、ある時から急に流暢に話せるようになりました。ちょうどその頃、絵画をテーマにしたスピーチコンテストに挑戦し、金賞を受賞したんです。語学力だけでなく、「どう解釈し、どう表現したか」も評価されるコンテストで、自分の考えを中国語で細かく話す経験は大きな自信になりました。自信がつくと話せるようになるんだなと実感しましたね。留学は、考えすぎると不安になります。でも、飛び込んでみると案外なんともなるものです。行けば、きっと楽しいことが待っている。ぜひ挑戦してみてほしいですね。

さらに広がる

香川大学
ネクストプログラム

香川大では、所属する学部での学習(学位プログラム)に加え、学部の枠を超えて、主体的に学習する自由参加型の特別教育プログラム“ネクストプログラム”を開設しています。ネクストプログラムでは、所属する学部で学位プログラムを学びながら、現代社会が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、今後重要性を増す分野、従来の学問体系にとらわれない分野などを学ぶことができます。

ネクストプログラムには、グローバル人材育成プログラムの他にも4つのプログラムがあります。



防災士養成プログラム

ヒューマニティーズ(人文学)
プログラム

DRIイノベーター養成
プログラム

危機管理学×数理・
データサイエンス・AI教育
特別プログラム

